

教育プログラム検討部会の報告

第2回地域人材養成推進会議

令和6年1月29日（月）

教育プログラム策定プロセス

(1) 仮説の設定

- SPARC申請書（計画調書）の作成

(2) 意見聴取

- 第1回地域人材養成推進会議（R5.3.9）
- 第1回教育プログラム検討部会（R5.6.9）

(3) 調査

- 経営者意識調査（R5.7～12）
- 高校生等ニーズ調査（R5.5～8）
- 入学者・就職者の状況

(4) 設計

- 育成する人物像、資質・能力、教育課程

(5) 評価

- 第2回教育プログラム検討部会（R5.11.8）
- 第2回地域人材養成推進会議（R6.1.29）

ブラッシュアップ

教育プログラム策定プロセス

(1) 仮説の設定

- SPARC申請書（計画調書）の作成

(2) 意見聴取

- 第1回地域人材養成推進会議（R5.3.9）
- 第1回教育プログラム検討部会（R5.6.9）

(3) 調査

- 経営者意識調査（R5.7～12）
- 高校生等ニーズ調査（R5.5～8）
- 入学者・就職者の状況

(4) 設計

- 育成する人物像、資質・能力、教育課程

(5) 評価

- 第2回教育プログラム検討部会（R5.11.8）
- 第2回地域人材養成推進会議（R6.1.29）

ブラッシュアップ

(I) 仮説の設定 (SPARC計画調書)

地域活性化人材養成事業 (SPARC)

地域活性化人材の定義

“地域産業”を強みに「国内外」に挑む人材

“高付加価値”を強みに「県内」に人を呼び込む人材

- ・ 山梨県総合計画
- ・ R4年度知事年頭記者会見 など

背景

事業協働機関
(COC+R)
との対話

- ・ 山梨県
- ・ 山梨総合研究所
- ・ やまなし産業支援機構

- ・ やまなし観光推進機構
- ・ 山梨県国際交流協会
- ・ Mt. Fujiイノベーションエンジン

- ・ 株式会社タンザワ
- ・ 萌木の村株式会社
- ・ 昭和産業株式会社

地域活性化事業
の成果

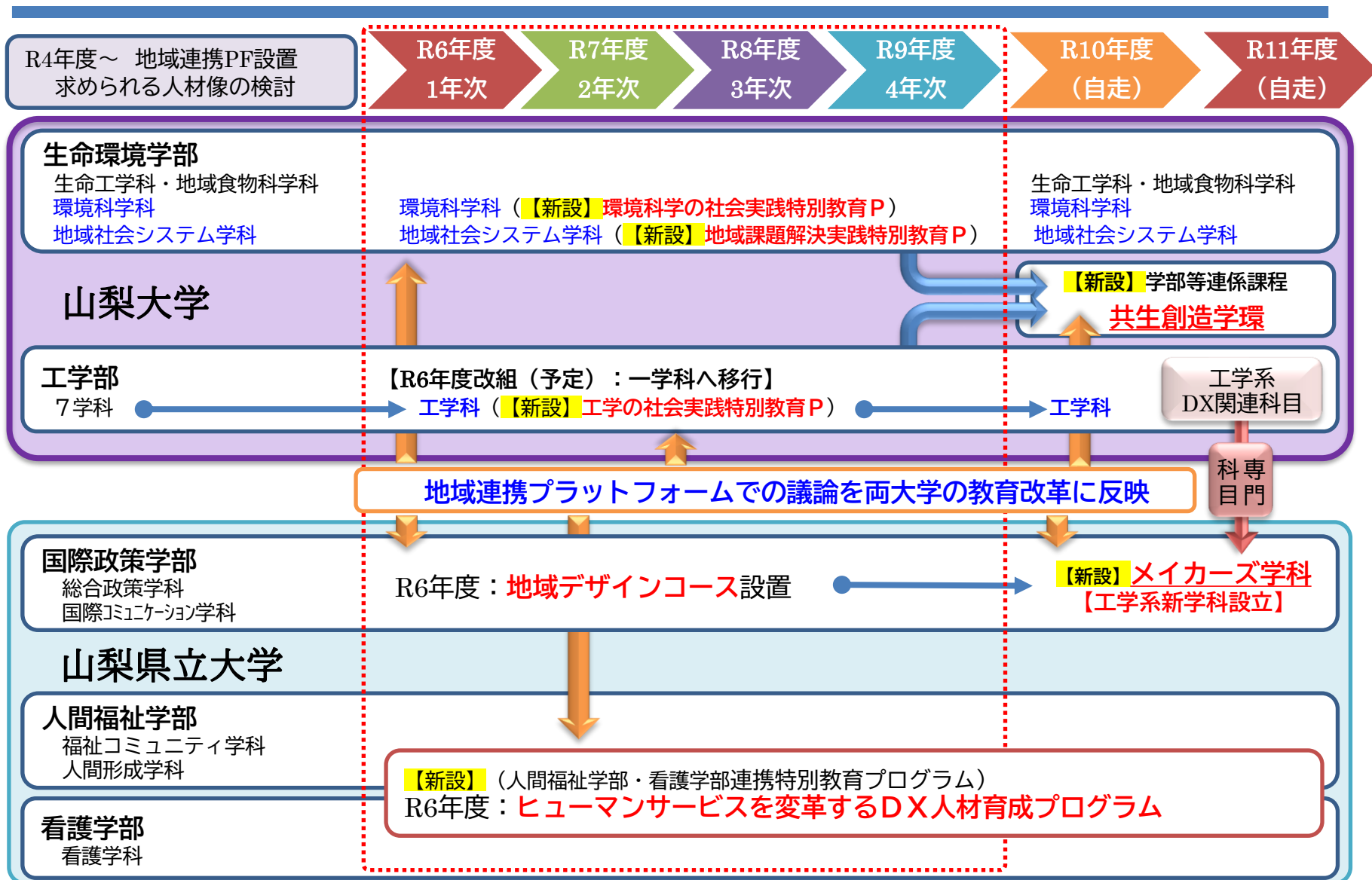
COC事業

COC+事業

対流促進事業

COC+R事業

○ SPARC事業の概要(山梨大学・山梨県立大学)



【注】教育プログラム、コース、学科、課程等の名称は全て仮称（以下同様）

教育プログラム策定プロセス

(1) 仮説の設定

- SPARC申請書（計画調書）の作成

(2) 意見聴取

- 第1回地域人材養成推進会議（R5.3.9）
- 第1回教育プログラム検討部会（R5.6.9）

(3) 調査

- 経営者意識調査（R5.7～12）
- 高校生等ニーズ調査（R5.5～8）
- 入学者・就職者の状況

(4) 設計

- 育成する人物像、資質・能力、教育課程

(5) 評価

- 第2回教育プログラム検討部会（R5.11.8）
- 第2回地域人材養成推進会議（R6.1.29）

ブラッシュアップ

(2) 意見聴取

- ・ 第1回地域人材養成推進会議（R5.3.9）
- ・ 第1回教育プログラム検討部会（R5.6.9）



人物像

資質・能力

教育方法

要望

- 育成する人物像の設定
 - ・ どのような人材が必要なのか？
- そのために必要な資質・能力は何か？
 - ・ マインドセット
 - ・ スキルセット
- どのような教育方法を行うべきか？
 - ・ PBL形式
 - ・ 現場を知る機会
 - ・ 山梨を好きになる
- 検討方法への要望
 - ・ 経営者意識調査の実施
 - ・ 高校生等ニーズ調査の実施

(2) 意見聴取（第1回全体会議での主な意見）

カテゴリ	内容
人物像	何かの分野で強く、そこを掘り下げられ、課題解決を支援できる人材 考え抜ける人材
資質・能力	山梨、地元、この地域が好きという意識が大事 学び続ける姿勢 構想力 価値創造力 発想力や想像力 堂々と発言でき、新しい発想を持った学生 傾聴力、対話力 企業の中で新しい価値・新しいことを作っていく人材 DXへの対応など新しい仕事に対応できる人材 社会課題を自分でなんとかしようというアントレ精神 課題解決していく能力
教育方法	山梨のことを十分に理解してもらえる教育 大学との連携でインターンシップを密にやっていきたい。 地元愛をどうやって育てるか 学修者にとって何が必要なのかという視点は大事 SPARCやCOC+Rで大学と民間の垣根をなくし、行ったりきたりできるようなシステム 学生が自己実現できるような場をぜひ積極的に作ってもらいたい。 学修者視点という考え方が大事。 どう学修者が参加できるかも重要で、カリキュラム・時間割・場所も違う大学が、どう連携していくのが重要。 働く方が参加可能か、オンラインではどの程度のことができるのか
要望	経営者がどのように考えているかについて、今回調べてみるのが重要 産業界のニーズをしっかりと把握していただきたい 高校生や保護者のニーズを把握してより良いものを作り上げていただければと思う。

(2) 意見聴取（第1回教育プログラム検討部会での主な意見）

カテゴリ	内容
人物像	新たな時代を担う人材
	新たな価値を生み出すなど、山梨や現場を変えるキープレイヤー的人材
	課題発見能力や、課題解決に向けて取り組むことができる人材
資質・能力	人間力やコミュニケーション能力
	地域産業等を支えている企業の意見等を聞き、地域のニーズを的確に把握する
教育方法	地域のことを深く理解する
	地域社会や地域の企業のことについて知る機会
	地域産業や地域が持つ豊かさや価値などに気が付く
	デザイン思考を養うことも重要

教育プログラム策定プロセス

(1) 仮説の設定

- SPARC申請書（計画調書）の作成

(2) 意見聴取

- 第1回地域人材養成推進会議（R5.3.9）
- 第1回教育プログラム検討部会（R5.6.9）

(3) 調査

- 経営者意識調査（R5.7～12）
- 高校生等ニーズ調査（R5.5～8）
- 入学者・就職者の状況

(4) 設計

- 育成する人物像、資質・能力、教育課程

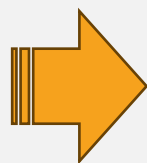
(5) 評価

- 第2回教育プログラム検討部会（R5.11.8）
- 第2回地域人材養成推進会議（R6.1.29）

ブラッシュアップ

(3) - I 経営者意識調査

- 調査方法 ヒアリングシートに基づくインタビュー方式（1時間程度）
- 調査対象 山梨県内30社の経営者
- 調査期間 2023年7月～8月
- 調査項目 ①産業界を巡る時代の潮流の変化をどのように捉えているか
②企業経営者の観点から見て、どのような資質（基礎的な教養、考え方、社会人としての行動力など）と能力を備えた人材が魅力的か
③その上で、地域を牽引する人材として、高等教育機関（4年制大学の学部）卒業者に求められる具体的な資質と能力についてどのように捉えているか
- 分析方法 850項目のデータを質的統合法（KJ法）により分析（R5.12報告書）



分析結果は、議事（2）において説明

※第2回検討部会（R5.11.8）のため、187項目のデータにより簡易分析も実施

(3) -1 経営者意識調査（簡易分析結果）

【地域企業に求められる人材像】

応用
(思考・判断・表現)
30件

基礎
(知識・技能)
68件

マインド
89件

(件数は、経営者のコメント数)

価値創造力	16
予測力	5
既存の常識から外れた発想	5
課題発見・解決力	4

基礎的な人間力	18
コミュニケーション能力	17
デジタルスキル	16
観察・リサーチ力	8
リーダーシップ・マネジメント力	6
語学	3

学び続ける力	18
チャレンジ精神	16
柔軟性	15
利他の精神	10
素直さ	9
価値観・美意識	9
粘り強さ	7
トライアンドエラーの精神	5

(3) -1 経営者意識調査（簡易分析結果）

【人材育成に関して大学に期待すること】

（件数は、経営者のコメント数）

方法	件数
実社会で体験的に学ぶ	18
リスクの中に身を置く	11
地域の歴史・文化・産業を学ぶ	8
小さな社会に触れる	6
実社会で役立つ知識・スキルを身に付ける	5
グローバルに触れる	4

【1 高校文理クラス数調査・進路担当教諭へのヒアリング】

対象 22校（県内18校、静岡4校）入学者の多い高校

実施日 2023年5月～7月

【2 高校生アンケート調査】

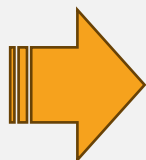
対象 103名 オープンキャンパスに参加した高校生

実施日 2023年 7/15日, 8/20日

【3 保護者アンケート調査】

対象 55名 オープンキャンパスに参加した保護者

実施日 2023年7/15日、8/20日



調査結果は参考資料を参照

(3)-3 入学者の状況

		入学者の県内出身割合						平均値
		入学年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
山梨県立大学	国際政策学部	入学者数	83	82	94	90	90	88
		うち県内者数	38	43	47	40	46	43
		県内割合	45.8%	52.4%	50.0%	44.4%	51.1%	48.9%
	人間福祉学部	入学者数	86	84	82	87	85	85
		うち県内者数	46	40	49	50	44	46
		県内割合	53.5%	47.6%	59.8%	57.5%	51.8%	54.1%
	看護学部	入学者数	100	100	100	102	106	102
		うち県内者数	59	66	65	54	67	62
		県内割合	59.0%	66.0%	65.0%	52.9%	63.2%	60.8%
山梨大学	工学部	入学者数	381	374	376	376	377	377
		うち県内者数	125	109	120	124	111	118
		県内割合	32.8%	29.1%	31.9%	33.0%	29.4%	31.3%
	生命環境学部	入学者数	157	152	162	172	164	161
		うち県内者数	44	44	55	58	49	50
		県内割合	28.0%	28.9%	34.0%	33.7%	29.9%	31.1%

(3)-4 就職者の状況

		卒業生の県内就職率						
		卒業年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平均値
山梨県立大学	国際政策学部	就職者数	73	88	68	85	77	78
		うち県内就職者数	29	24	22	28	30	27
		県内就職率	39.7%	27.3%	32.4%	32.9%	39.0%	34.6%
	人間福祉学部	就職者数	89	76	74	76	80	79
		うち県内就職者数	32	31	28	34	38	33
		県内就職率	36.0%	40.8%	37.8%	44.7%	47.5%	41.8%
	看護学部	就職者数	102	94	98	95	90	96
		うち県内就職者数	72	50	67	57	57	61
		県内就職率	70.6%	53.2%	68.4%	60.0%	63.3%	63.5%
山梨大学	工学部	就職者数	232	221	178	157	180	194
		うち県内就職者数	27	31	43	35	38	35
		県内就職率	11.6%	14.0%	24.2%	22.3%	21.1%	18.0%
	生命環境学部	就職者数	95	95	89	84	87	90
		うち県内就職者数	25	21	23	26	23	24
		県内就職率	26.3%	22.1%	25.8%	31.0%	26.4%	26.7%